

『「気になる子」が変わるとき』 ～子どもの見方が変わると、保育が変わる～

“どうしたらいいのだろう…” “気になる子”が変わるときっていつなのか…”と、日々悩んでいませんか？子どもの発達や特性を捉えながら必要なことを考え、実践していくことは簡単なことではありません。子どもたちは、日々の中で“嬉しい”“楽しい”という経験をたくさんしている一方で、多くの悩みや不安も抱えています。なぜならそこには発達への願いがあるからです。子どもの願いと悩みを再発見すると、保育を見直すチャンス到来です！！

今年度は、木下先生をお招きし、「気になる子」の保育を通して、“発達する”ということはどういうことなのか、子どもたちの内面的な思いやねがいに少しでも寄り添えるように、子どもの姿を思い浮かべながらみんなで学んでいければと思います。多くの方々の参加をお待ちしています。

きのした たかし
<講師> **木下 孝司** 先生 (神戸大学 人間発達環境学研究科教授)

<日時> **2024年 9月 7日 (土)**

講演：14時10分～15時30分 (受付：13時40分～)

<会場> **福山市東部市民センター 2階 ホール**

〒721-0915 福山市伊勢丘6丁目6-1 TEL 084-940-3571

※臨時駐車場が満車になり次第、鳳中学校へ停めてください

<対象> **福祉関係職員、保育所職員、幼稚園職員等**

<資料代> **500円** (草笛学園・ひかり園・あしび園・ひまり園の職員は、無料です)

<定員> **140名**(定員になり次第、締め切ります)

<参加方法> 草笛学園HP内の「講演会について」、または下記QRコードからお申込みください

参加お申込みの受付期間：7月22日(月)～8月19日(月)

<お問い合わせ先> **児童発達支援センター 草笛学園**

〒720-2412 福山市加茂町下加茂909-1

TEL 084-972-3950 FAX 084-972-7255



講師の紹介

木下 孝司 先生

神戸大学 人間発達環境学研究科教授。専門は発達心理学。乳幼児期のコミュニケーションと自他理解の発達を研究し、保育現場などにおいて障がいのある子どもの事例・実践検討に参加している。

著書『「気になる子」が変わるとき』

『実践、楽しんでいますか？』(共著)

『子どもの発達に共感するときー保育・障害児に学ぶ』

『子どもの心理的世界のゆらぎと発達』(共著) など

※交通のご案内・駐車場の地図は、裏面を参照してください。

主催：社会福祉法人こぶしの村福祉会
草笛学園

共催：児童発達支援センター ひかり園

児童発達支援事業 あしび園・ひまり園

後援：福山市

交通のご案内



臨時駐車場：約徒歩 10分 鳳中学校のグラウンド：約徒歩 15分

※駐車場は、①臨時駐車場に停めてください。満車になり次第、②鳳中学校のグラウンドへお願いします

※駐車場から少し距離があるため、早めにお越しください